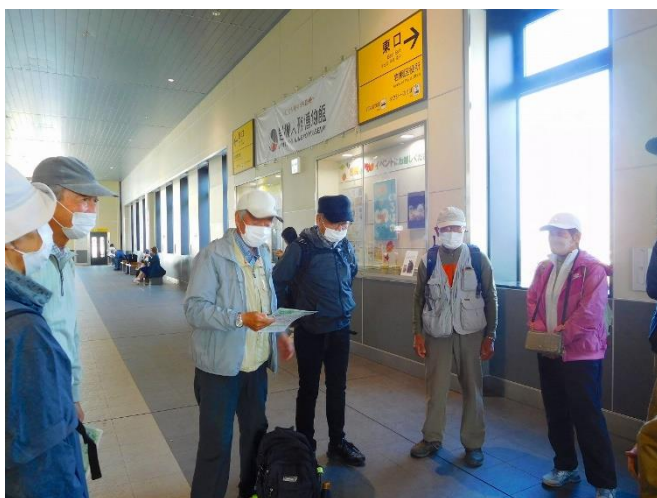
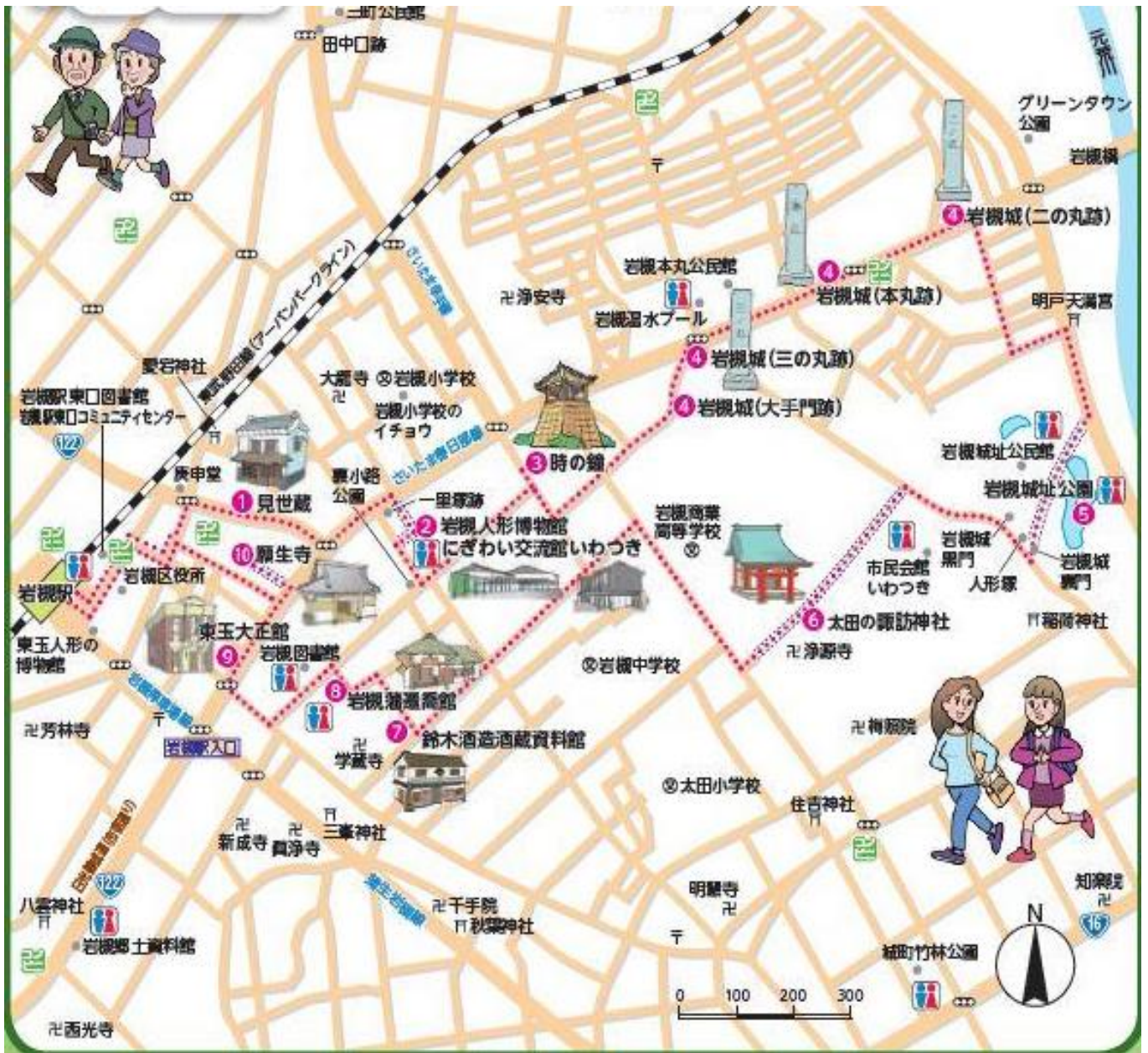


2022年11月度ハイキング岩槻(人形の町、小さな城下町)の街歩きの報告 2022.11.6

2022年11月4日(金)、ハイキング同好会としては久々のハイキング、お天気に恵まれた一日、岩槻の街を散策してきました。岩槻(いわつき)は、今は人形の町として知られていますが、江戸時代に譜代大名の大岡氏が治めた岩槻藩の城下町で、城下町らしくT字路が多い街でしたが、石垣などの城跡を思い起こすものは少なく、閑静な雰囲気のみちでした。今回の参加者は11名でした。コースは下図の赤点線のルートで約6kmコースでした。



10:10 岩槻駅にて本日のコース説明



10:05 岩槻駅到着後すぐにYさん、みかんを配布

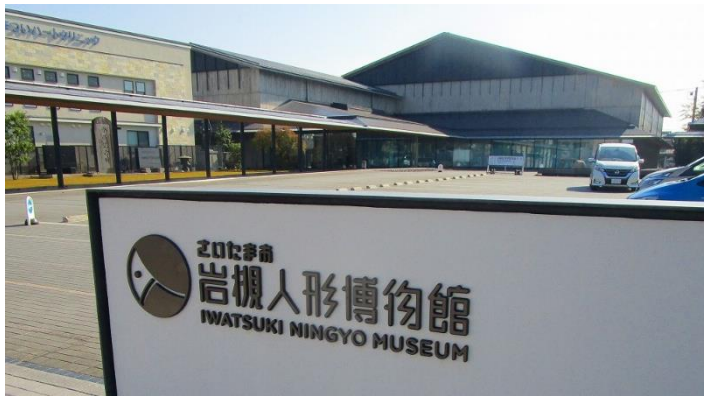


10:10 岩槻駅東口を出発



10:17 ①見世蔵の前にて

「見世蔵」は江戸末期から白木綿を扱う問屋として使用。白木綿はかつて岩槻の主要な産物であり、「岩槻木綿」として有名でした。この見世蔵は明治10年の建築とみられている。通りに面した土蔵造2階建の店部分と後ろに主屋があり、平成28年(2016)に国の登録有形文化財に登録。



10:25 ②岩槻人形博物館到着

道灌は、江戸城築城で有名ですが、岩槻城、川越城も築城した。また、和歌にも優れ、文武両道の名将として知られる。



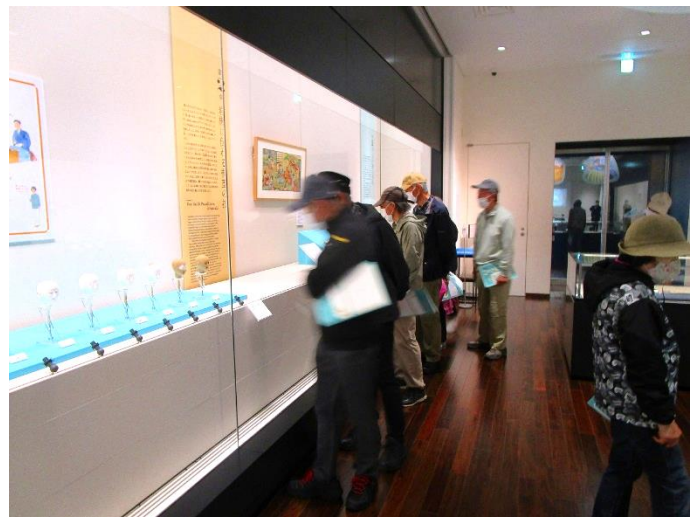
博物館前に建つ太田道灌像



今回は訪問できませんでしたが、駅近くの芳林寺には道灌の供養塔、騎馬像があるそうです。



10:35 人形の顔ができるまでの過程をじっくり
と見学する皆さん



博物館の内部は3つの展示室からなっており、常設
展示として「人形ができるまで」の行程説明や、ひな人
形などの節句人形の変遷、古典様式の人形などの展示がありました。



11:08 岩槻人形博物館の前にて集合写真



11:17 ③ 時の鐘



寛文 11 年(1671 年)が、岩槻藩主・阿部正春 (あべまさはる)が渋江口に設置した時鐘で、享保 5 年(1720 年)の改鑄。現在に至るまで、毎日、6:00、正午、18:00 の 1 日 3 回、時を告げている。



11:18 大いちょうの樹の前で...

何人で一回りできるかな?とYさん



11:28 ④-1 岩槻城大手門跡

11:32 途中の静かな小路を歩く一行



④-2 三の丸跡の石碑



11:34 ④-3 岩槻城本丸跡



11:45 ④-4 二の丸跡

岩槻城の跡は、石垣などの“城”の名残りは何もなく、ほとんどが標識のみ。明治の廃藩置県に伴い岩槻城は廃城になり、その時に取り壊されたことによるようだ。



11:55~12:50

⑤ 岩槻城址公園
にて昼食





13:00 公園内には見事な紅葉がありました。



13:05 城址公園内の池に架かる“八つ橋”にて撮影

【参考資料】 江戸時代後期の岩槻城地図

岩槻城は下図のように元荒川(当時は荒川の本流)の南西に広がる湿地に突き出した岩槻台地上に築城されていたようです。今回は黄色点線を散策。緑点線は現在の「県道2号さいたま春日部線」



岩槻城は現在市街地の東に位置し、元荒川の南西に広がる湿地に突き出した岩槻台地上に主郭が置かれた。久伊豆神社のある北方に新正寺曲輪、主郭の南側に新曲輪、西側には武家屋敷や城下町が広がっていた。石垣は使われておらず、土塁と堀の関東では一般的な築城となっている。かつて存在していた水堀の面積は全国の城の中でも最大級といわれる。

この城郭マップは江戸時代後期の城郭および城下町であり、現在ではごく一部の遺構しか残っていない。元荒川の川筋も変わっており、現在は城下町を包み込むような流れにはなっていない。「埼玉県道2号さいたま春日部線」を開通させたため、主郭の曲輪および堀は何も残っていない。

現在では南端の新曲輪、鍛冶曲輪が岩槻城址公園として県史跡に指定されている。これらの曲輪は北条氏支配期に造られた出丸であり、北条氏の築城で知られる障子堀が発見されている。



岩槻市指定文化財 岩槻城城門

指定年月日 昭和三十三年二月二十一日

指定の種類 有形文化財(建造物)

所有(管理者) 岩槻市

この門は岩槻城の城門と伝えられる門である。岩槻城内での位置は明らかではないが、木材部分が黒く塗られていることから、「黒門」の名で親しまれている。

門扉の側面に小部屋を付属させた長屋門形式の門で、桁行(幅)約十三メートル、梁間(奥行)約三・七メートルである。屋根は寄棟造で瓦葺き。

院藩置廢に伴う岩槻城廃止により城内より撤去されたが、昭和四十五年(一九七〇)城跡のこの地に移築された。この間、浦和の埼玉県庁や県知事公舎の正門、岩槻市役所の通用門などとして、移転・利用された。

修理・改修の跡が著しいが、柱や組材、飾り金具などに、重厚な城郭建築の面影を伝えている。岩槻城関係の最少ない現存遺構として貴重なものである。

13:10 岩槻城城門(黒門) 市の重要文化財として移築保存されている。



人形塚について

昭和四十六年(一九七一年) 当時の岩槻人形塚協会は十月十五日を「人形の日」と決め、埼玉百年を記念してこの岩槻の一角に人形塚と人形の碑を建立いたしました。人形塚は、蝦夷の日本画家、関根将雄画伯のデザインによるもので、製作に当たっては、地元の名匠人形師の力を借りて製作しました。

岩槻の人形師は、江戸時代のはじめ、日光東照宮参道の頭(一六三〇年)とされていきました。その後、人形作りに心血を注ぎ、いよいよ先代父祖の業を継ぎ、また多くの人形師が心をこめて作り上げ、かつ人々に愛された人形師の栄光を祈り、この人形塚は作られました。

平成四年三月吉日

埼玉果観光達
岩槻市観光協会
岩槻人形塚協会



13:13 人形塚



太田諏訪神社本殿

一、種別 有形文化財(建造物)

二、名称 太田諏訪神社本殿

三、員数 一棟

四、所在地 さいたま市岩槻区太田

五、所有者 宗教法人 諏訪神社

六、指定年月日 平成二十六年三月三十日

七、公開日 毎月十七日

太田諏訪神社本殿は、岩槻区太田一丁目に所在する建造物です。一七世紀前半の建築的特徴をよく残しており、江戸時代前期(一六三九)に遡る数少ない神社建築です。

さいたま市域における神社建築の展開や地域相を明らかにする上で貴重なものであることから、市の有形文化財(建造物)に指定されました。



13:26 ⑥太田諏訪神社



13:50 ⑦鈴木酒造資料館 蔵内の展示物を見学

14:05 ⑧岩槻藩遷喬館（休館日にあたり中は見学できませんでした。）



寛政 11 年（1799 年）岩槻藩士で儒学者の児玉南柯が遷喬館をつくる。
 文化年間（1805～11 年ごろ）岩槻藩の藩校となり、藩士（武士）の子どもだけが通うようになる。（他の子は郷学校や寺子屋に通うようになった。）
 明治 4 年（1871 年）廃藩置県により岩槻藩がなくなり、藩校（遷喬館）も廃止。
 その後、民家として使用されていたが、昭和 14 年（1939 年）に埼玉県の史跡に指定された。
 県内では唯一現存する藩校の建物。

14:15 ⑨東玉大正館前に到着



中井銀行岩槻支店として大正後期に建築された、煉瓦造2階建ての洋館建築。
 昭和2年昭和銀行、その後安田銀行、富士銀行となり、昭和35年に東玉が譲り受け現在に引き継がれる。
 平成19年(2007)国の登録有形文化財になる。



阿弥陀三尊圖像月待供養板碑

14:25⑩願生寺本堂へ向かうYさん

板碑は鎌倉時代から室町時代にかけて墓塔、供養塔などとして建てられたもので、現存のものは高70cm、幅33cm。線彫りした阿弥陀如来像しか残っていないが、欠損した下部の一部に月輪が見えることから、観音菩薩と勢至菩薩を従えた阿弥陀三尊像を圖像で表現したことがうかがえる。



14:45 岩槻駅東口に無事もどりました。

全員無事帰着、挨拶後解散。



久々のお天気にめぐまれた秋晴れの日、岩槻の街の散策を楽しむことができました。

人形の町、小さな城下町、岩槻の街歩き、約6kmのハイキングでしたが、大きなトラブルもなく無事に完歩できたよかったです。参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、12月2日(金)「長瀬岩畳一周コース」ハイキングが美術工芸科の担当で開催されます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記：加藤 治朗